

2021年6月

No.7

つながって → ひろげる

助成金の交付決定を受けて

共同代表 山中和彦

令和3年6月14日付けで、小牧市市民活動助成金交付決定通知書をいただきました。今年度も、小牧市から、私たちの市民活動に対して、63,000円の助成をいただけることになりました。

私たちが、助成金を申請する目的及び内容としてあげたのは、「団体の活動基盤の定着と活動参加者の拡充を目指し、①定例会の定着、②ホームページの拡充、③会報の発行・配布、④障害者団体交流会の開催を行う。」というものです。

市民活動助成金に応募し、助成を受けることのメリットは、単に資金的な援助が受けられるということにとどまりません。第1に、やりたいことを活動計画として取りまとめ申請をし、年間の活動結果を報告するというプロセスがあるため、目標設定、実行、振り返りと、年間の活動がしっかりとします。第2に、市民のみならず、納めた税金からの交付ということで、活動の内容に公的な視点を意識することになります。私たちの活動が自分たちだけのためだけでなく、よりよいまちづくりに役立つものなのか、将来の市民に喜ばれるものを生み出そうとしているのか等の視点です。第3に、実務的には、市の公共施設などに市民活動助成金交付事業として広報の協力をお願いできることのほか、市の支援を受けられることもメリットです。最後に、市民活動促進委員会からの助言は、日ごろ気づかない方向から指摘、助言をいただけるので、ありがたいです。



今年度は、次のような提言をいただきました。

【今後の事業展開における提言(全体)】

市内で活動する障がい者団体の課題を提起し、情報力を強化するために連携を図ることを目的として会を設立されてから、順調に連絡会としての組織強化を図られていることに敬意を表します。

また、年度の期初に目標を可視化し、会員間で共有されていることを高く評価します。

今後は、訴求するターゲットに応じて情報発信の手法を変えたり、複数の媒体を組み合わせた情報発信を行うなど、効果的な情報発信の方法を研究・構築していただき、ソーシャルインクルージョンの実現に向けて、「つながって→広げる」を進められていくことを期待しています。

コロナ禍にあっても活動が継続できるよう頑張っていただきたいと思います。新型コロナウイルス感染症への感染には十分注意しながら活動してください。

【今後の事業展開における提言(各委員より)】

■各種媒体を使って事業のPRに力を入れてください。それが人の共感を生み、今後の事業を展開するうえでの大切な資源の獲得につながるはずです。また、できれば連絡会活動の中で見えてきた課題を、小牧市をはじめとする行政に対し、提言活動として発信することも大切と思います。

■市内の障がい者団体の支援とともに、ボランティアその他のサポート団体とをつなげる「カナメ」的な存在であるが、さらなる支援の輪を広げる必要からも助成金交付を認めたい。

■障害者の方々の支援は終わりがありません。継続支援が必要だと思います。

■障がい者団体の連携により、さらに情報発信を進めていただきたい。

■必要経費が zoom 利用料や会報等々、金額が詳細に明記されており分かりやすかったです。zoom で有意義な会議ができるといいですね。

2020 年度会計報告

収入	項目	収入額	備考
会費	正会員	14,000	2,000 円×7 団体
	賛助会員	5,000	1,000 円×5 団体
補助金	市民活動助成金	77,479	
寄付金	講師料カンパ	10,000	5,000×2回
繰越金		12,192	
収入合計		118,671	
支出	項目	支出額	内容
事業費	賃借料	24,964	レンタルサーバー、zoom使用料
	諸謝金	10,000	UDトーク講師料
	印刷製本費	38,530	会報印刷料
	通信運搬費	21,820	会報送料
	会場費	1,320	
管理費	通信運搬費	19,250	インターネット FAX 使用料
	消耗品費	0	
	手数料	990	振込・振替手数料
支出合計		116,874	
繰越金	次年度へ	1,797	

小牧市難聴・中途失聴者協会

コロナ禍でも、幸いに3月の定例会が開催できたので、今年度の計画を話し合いで決めることができました。4月に、ほぼ全員が参加し総会ができたのですが、3回目の緊急事態宣言・延長で、5月・6月と休会しました。7月に「遊字、暑中見舞いを描こう」を実施できることを祈る日です。顔を合わせることができないので、スマホを持っている方が多くなったこともあり、グループLINEを作りました。連絡の確認や気軽に情報交換の場ができて良かったと思います。いまは、コロナワクチン接種の予約や接種後の感想を知らせ合ったりしています。



5月から郵送が開始されたコロナワクチン接種券の封筒の中に「手話・要約筆記通訳の申請ができる案内チラシ」が入っていました。福祉課担当者のお話では、聴覚の障害者手帳を持っている全員にチラシを入れたとのこと。障害者手帳を持っていない方にも対応できると当会に連絡がありました。市が積極的に制度利用の案内をしてくださったことを大いに評価したいと思います。(古木)

こまき視覚障がい者の会

集まれずともラインミーティングで、多くの議題に対して話し合いを重ねることができました。もともと、視覚障がい者は外出が困難であり、皆で集まることの方が大変だったのです。コロナ禍だから「こんなやり方でできたのか」と、再認識させられたり、「どのように活動するか」と創造力を鍛錬するうえでも大きな力になったと思います。

4月10日には、ガイドヘルプ友の会さんのサポートにより「おさんぼサロン」を開催し、小牧山麓歴史散策コース、こまき中央図書館ミステリーツアーの2択で、気候にも恵まれ楽しいお散歩をすることが出来ました。5月には、視覚障がい者に向けてのiPhone講座の個人レッスンをおこないました。また別におしゃべりスペースを設けて、初めて来られた方からもお話を聞くことが出来、今後のイベントなどにも参加していただけるような関係作りも出来ました。



▲こまき中央図書館ミステリーツアーにおいて、声のボランティアかっこうさんの案内で、対面読書室を見学

その後、緊急事態宣言が発令されましたが、「iPhone 講師養成講座」はZoomで開催することが出来ました。視覚障害当事者だけならば、見えないのでラインで十分ですが、晴眼者の参加もあったのでZoomを選び、視覚障がい者がZoomでの参加ができるよう訓練も兼ねました。講師の永徳さんからはテキストをいただき、今後予習復習にも役立つようになりました。活動を始めて2年目ですが、皆さんの助けをお借りして、いろんな体験をしながら前進していきたいと思っています。(水谷)

■こまき視覚障がい者の会 facebook →

「おさんぼサロン」のこぼれ話や、iPhoneの音声操作など、写真や動画とともに掲載しています。

こまき視覚障がい者の会



しきの会

この春、小牧駅前に新しい小牧市立図書館がオープンし多くの市民が利用する新しいスポットが出来ました。しきの会は こまき市民活動ネットワークからの依頼を受け 4/24(土)に、新図書館1F ロビーにて『だれでもアート』を開催しました。パラスポーツ競技者、名古屋城の金シャチ、勇ましい寅、楽器のコントラバス、といった異なるモチーフテーマを様々な画材を使って自由に”描き楽しむ”イベントです。出来上がった作品を会場内に大きくプロジェクター投影し来場者が”観て楽しむ”という美術展の視点も設け、200枚を超える素晴らしい絵をデジタル展示しました。新しい図書館のオープン月イベントとして大変好評を戴きました。

5月には毎年恒例の『しきの会オリジナルチャリティTシャツ作成&販売』を行いました。個性あふれるデザインに、今年も300枚近くの注文が集まりました。応援して下さった皆様ありがとうございます。売上金はしきの会の様々な活動に大切に充てさせていただきます。

今後の予定としては①7月開催の『こまきアートプロジェクト』に連動し、24日、25日(土、日)に『こまき山 STREET FES2』の名で音楽コンサートを開催します！夏の夕涼みに(18時~19時半)ラピオ屋外南西角にぜひお立ち寄りください。②7月25日(日)13時半~15時半にはラピオ2階のワクティブこまきにてしきの会の新しい取り組み『声かけサポート事業(仮)』のディスカッションを行います。(令和3年度助成金事業)詳しくはHPをチェックお願いします！(関)



▲新図書館1Fロビーで開催した『だれでもアート』

■しきの会ホームページに活動報告多数掲載！

しきの会 HP shikino-kai.com

小牧市肢体不自由児者父母の会

今年度の活動近況報告です。総会も「誌面開催」という名の中止から始まりました。西尾張部地区、県も緊急事態宣言が発令されたので、中止となりました。

これから、オリンピックの開かれる東京で9月に全国大会があります。規模を縮小して開催が決まっています。実は来年は、愛知県が全国大会開催地となるため、研修を兼ねて現地参加をしてきます。コロナワクチン接種も順調にすすんでいることですし、来年にはこれまでと同様の活動が行えるように着々と準備中です。

どこの団体の方も集まって準備が出来ない今の大変な時期を、そんな事もあったねと笑って話せるようになる日も後少しだと思います。みなさまも暑さ対策しながら、マスク生活を御身体に気を付けて、元気にお過ごしください。(上田)





お便りコーナー

日々の暮らしの中で感じたことや体験したことなど、お便りをお待ちしています。気軽にお寄せください。

今 思うこと…

ここばかりこまきの仲間に入れてもらって、色々活動に参加させて頂きました。講演会やコンサートなどでの受付にたずさわられて、ヘルパーさんと一緒に声をかけて資料を渡したことは、初対面の人と話せなかった私の第一歩となっております。ありがとうございます。



私も今年で50歳になります。今言われている8050問題に直面しているので気になります。母と2人で暮らしていますが、母の入院をきっかけにヘルパーさんをお願いするようになりました。今は朝、デイサービスに行く支度、夕飯を作る・食事介助等お願いしていて私的には充実してきました。が、母の方が私としては不安で心配です。なぜなら私一人でいざという時決断しなくてはいけないからです。母が倒れて友達のお母さんに救急車呼んでもらった時「きみちゃんが判断してくれないと救急車呼べないよ」と言われて、呼んでくれるように頼みました。どうしたらいいのかわかりません。私の判断が正しいのか、このまま一人になったらと不安でした。でも助けてくださる近所の方々、デイサービスの職員さん、相談員さんなどたくさんいる事を改めて感じました。

親の介護は障害者にかかわらず誰にでも訪れる事です。だけど福祉支援のことを知らないで悩んでいる方も多いと思います。でも誰かに聞いてもらうだけで心が楽になったり、もう少し頑張ってみようと思うのです。介護の相談ができる福祉施設があることを知ってほしい、そして介護はみんなに助けてもらいながらでいって思える社会になるといいな。

ここばかりこまき 大蔵貴美子

【会員を募集しています】

小牧市のさまざまな障害者当事者団体、支援者団体がつながって、いろいろな障害のある人の立場を互いに知りあい、共同して市民に向けて発信していくことで、障害のある人も誰もが暮らしやすいまちづくりを進めていくことを目的に活動しています。活動に賛同していただける団体を募集しています。

■正会員(団体のみ、年会費 2,000 円) ■団体賛助会員(年会費 1,000 円) ■個人賛助会員(年会費 1,000 円)
※賛助会員は、活動への参加は難しいけれど趣旨に賛同し、イベントへの参加や活動の周知等を通じて応援して下さる会員です。議決権はありませんが、イベント等のご案内を差し上げます。申込みは下記メールアドレスへご連絡ください。

小牧市障害者団体連絡会加入団体(50音順):正会員(7)賛助会員(5)

【正会員】 犬山・小牧地域腎友会、ここばかりこまき、小牧市おもちゃ図書館きらら、こまき視覚障がい者の会、小牧市肢体不自由児者父母の会、小牧市難聴・中途失聴者協会、しきの会

【賛助会員】小牧市聴覚障害者福祉協会、小牧おひさまクラブ、手話サークルおてだま、手話サークルふたば、全国障害者問題研究会小牧サークルかざぐるま

小牧市障害者団体連絡会通信 2021年6月発行
〒485-0811 小牧市光ヶ丘1-1 アクシス光ヶ丘4-403(山中)
【メール】 mail@komaki-sdr.sakura.ne.jp
【ホームページ】 http://komaki-sdr.sakura.ne.jp

※視覚障害のある方へ
ホームページに本通信の
テキスト版があります。

